

第 87 回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成 15 年 12 月 5 日(金) 13:30～16:30

場所：八重洲センタービル会議室

出席者：委員長 大崎（東京大）

副委員長 北野（JR 東海）

委員 小豆澤（神戸大）、苅田（科学技術振興機構）、築島（三菱電機）、藤井（九大）、
牧（東海大）、水間（交通研）、脇若（信州大）、海老原（武蔵工業大）、
山根（産総研）

幹事 水野（信州大）、村井（鉄道総研）

幹事補佐 真田（大阪府立大）、鳥居（武蔵工業大）

提出資料

- 87-1 第 86 回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 87-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 87-3 第 71 回産業応用部門研究調査運営委員会報告（大崎委員長）
- 87-4 D 部門組織改善WG 報告（総括）（大崎委員長）
- 87-5 編修会議報告（大崎委員長）
- 87-6 平成 15・16 年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 87-7 リニアドライブ研究会（楡井委員）
- 87-8 超電導応用電力機器、リニアドライブ、合同研究会（北野副委員長）
- 87-9 委員会構成員変更届（楡井委員）
- 87-10 LD 技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 87-11 平成 16 年度(2004 年度)LD 技術委員会開催予定日（案）（水野幹事）
- 87-12 平成 16 年度の研究会開催について（大崎委員長）
- 87-13 リニアドライブ技術委員会優秀論文発表賞 A の推薦規定（北野副委員長）
- 87-14 第 5 回産業用リニアドライブ国際シンポジウム計画趣意書（大崎委員長）
- 87-15 LDIA2005 組織委員会（案）（小豆澤委員）
- 87-16 磁気支持応用機器におけるダイナミクス調査専門委員会（MLV）活動報告（村井幹事）
- 87-17 リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会（LMD）活動報告（楡井委員）
- 87-18 超電導磁気浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会（SLD）活動報告（北野副委員長）
- 87-19 多次元ドライブシステム調査専門委員会（MDD）活動報告（海老原委員）
- 87-20 多次元ドライブシステム調査専門委員会（MDD）の技術報告書（海老原委員）
- 87-21 産業用リニアモータの特性測定法と評価技術調査専門委員会（MEL）活動報告（水野幹事）
- 87-22 第 9 回リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会議事録（楡井委員）
- 87-23 第 9 回多次元ドライブシステム調査専門委員会議事録（海老原委員）
- 87-24 第 3 回産業用リニアモータの特性測定法と評価技術調査専門委員会議事録（水野幹事）
- 87-25 平成 15 年度第 1 回医用電磁駆動システム産業振興のための協同研究委員会議事録（山根委員）

議事

1 議事録確認

資料 87-1 を用いて議事録確認を行い、承認された。

2 報告事項

2.1 資料 87-2 を用いて、委員会名簿の確認を行った。

2.2 資料 87-3 から 87-5 を用いて、大崎委員長より、D 部門研究調査運営委員会の報告があった。MDD 委の解散・新設が承認されたこと、前 SLD、ECD、SEL 委技術報告書についての言及があったこと、産業応用フォーラム企画の依頼があったことが報告された。また、組織改善については H16.4 より実施見込みであること、論文発表賞 A に本部表彰枠と部門表彰枠ができ、今年は LD で 4 名（本部 1、部門 3）となるとの説明があった。また、研究経営会議報告として、研究会の参加費を取る、または資料当日配布分の値上げを行うことが検討されていることが紹介された。さらに、

953号

編集会議にて投稿料の値下げについて議論されていることが報告された。関連して、支部の存在意義についてまとめなおすべきであるとの意見があった。

2.3 資料 87-6 を用いて、平成 15・16 年度各委員会の予定を確認し、以下の修正があった。

(1) MDD 委員会：開催予定日 2/10 を追加

(2) 関連会合に、モータ技術展、IEEE-IAS, MAGLEV2004, ICEMS2004 を追加

2.4 資料 87-7 を用いて、真田幹事補佐より、12/18,19 実施予定の LD 研究会についての紹介、懇親会と宿泊の案内があった。また、資料 87-8 を用いて、北野副委員長より、1/19,20 実施予定の超電導応用電力機器／リニアドライブ合同研究会についての紹介があった。

2.5 資料 87-9 を用いて、真田幹事補佐より、LMD 委の委員追加についての報告があった。

2.6 資料 87-10 を用いて、真田幹事補佐より、資料提出スケジュールの確認があった。

3 審議事項

3.1 資料 87-11 を用いて、水野幹事より、H16 年度の技術委員会開催予定についての提案があり、モータ技術展との兼ね合いから、4/23 を 4/16 に変更することとした。また、6 月の LD 研究会について、6/24,25 に行いたいとの提案があった。

3.2 資料 87-12 を用いて、大崎委員長より、H16 年度の研究会開催について、6 月・9 月開催分の時期、担当委員会についての議論があった。担当委員会については、なるべく垣根をつくらぬ形で開催するとの合意がなされた。6 月は提案通り、9 月予定は 11 月中旬実施に変更することとした。また、1 号委員の座長担当研究会の提案があり、了承された。

3.3 資料 87-3 を用いて、大崎委員長より、LD 関連の D 部門誌特集・解説テーマについての提案があった。特集は LDIA 投稿論文で組むこととし、解説は、「多自由度」(海老原、矢野、2005 年初頭)、「医用」(山根、2004 年後半)を提案することとした。最新技術動向は、現状から考えてしばらく待つて提案することとした。

3.4 資料 87-13 を用いて、北野副委員長より、優秀論文発表賞について、4 名を例年通りのやり方で幹事グループ主体で選出して後日報告するとの提案があり、了承された。

3.5 資料 87-14 を用いて、大崎委員長より、LDIA2005 の現状の説明があった。2 月の技術委員会後に組織委員会を開催して発足する。引き続き、資料 87-15 を用いて、小豆澤委員より、組織委員会の構成についての提案があった。これについて、以下のような意見があった。

(1) 組織委員会はスリム化するべきである。

(2) 協賛金の問題を考えると必要なところを減らすべきではない。

(3) 関西地区の委員を是非紹介してほしい。

(4) 組織委員会の性格をどう位置づけるかが問題である。

今後、第 2 次案を作成し、メール審議を行い、年明けに向けて詰めていくこととした。さらに、事務局、会計予定者についての議論があった。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 87-16～87-25 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上